事業所における自己評価総括表

○事業所名	ＮＰＯ法人　きなんせこども館			
○保護者評価実施期間	2026年　9月　1日	～	2026年　9月　30日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	24名	（回答者数）	15名
○従業者評価実施期間	2026年　9月　15日	～	2026年　10月　15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	12名	（回答者数）	12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年　10月　31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの発達に応じた個別療育と小集団療育を実施しています。生活リズムの安定を図るため、複数の部屋を使ったりパーテーションを用意して児童本人が自分のことに集中しやすい環境を作っています。	「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミニケーション」「人偏関係・社会性」の5領域から児童一人ひとりのニーズに合わせた個別療育に取り組んでいます。	ご家族との情報交換や職員同士での情報交換を密に行い、話し合いを通じて個々の特性を考慮した総合的な発達支援を行う。
2	ご家庭への送迎時には日々の療育内容や出来事を説明し、情報の共有化を図っています。	困りごとがあった時には管理者・児童発達管理責任者へいつでも相談できる環境を整えています。	保護者会の開催を行っていますが、出席者が少ないので開催方法を検討し、多くの保護者様が出席できる環境を整えていく。
3	課外活動（博物館・体験施設等）、館内での行事（夏の水遊び・夏祭り・クリスマス会等）季節に応じた活動を行っています。	利用者が課外活動や行事等を通りて、様々な経験が出来るような環境を整えています。 通所する子供に係る地域の関係者関係機関との連絡の強化。	保護者様だけでなく、地域住民との交流を図るための工夫。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流が少ない。	年1回の保護者会や保護者参加型のクリスマス会等行っていますが、開催日や時間が決められているため、参加者が少なく、保護者同士の交流は不十分。	出席者が少ないので開催方法を検討し、多くの保護者様が出席できる環境を整えていく。
2	地域との交流が少ない	岩美町内の地域行事には積極的に参加しているが、地域住民との交流機会が少なく、事業所でのイベントなども参加者はほぼいない状況。	地域の集会等にも参加し、地域住民との交流を図るための工夫。
3	職員の入れ替わりがあると、利用者様が不安になり，心配される保護者様もおられると思います。	職場環境を整え、働きやすい職場作り。	職員の確保と、定着を図る職場作り。